國家機密

參謀總長御說明

25

0164

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

謹ミテ所要事項ノ御説明ヲ申上ケマス

先ツ南方諸邦ノ陸軍軍備ニ就イテ申上ケマス

第二次歐洲戰爭ノ勃發、日獨伊三國同盟ノ締結ハ特ニ帝國陸海軍ノ南部佛印進駐等ニ伴ヒマシテ、南方諸邦ノ陸軍軍備ハ逐次增强セラレツツアリマシテ、其概要ヲ申上ケマスレハ馬來ニ於キマシテハ陸軍兵力約六ー七万飛行機約三百二十機、比島ニ於キマシテハ陸軍兵力約四万二千飛行機約百七十機、蘭印ニ於キマシテハ陸軍兵力約八万五千飛行機

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

約三百機、緬甸ニ於キマシテハ陸軍兵力約三万五千飛行機約六十機ヲ有シ之ヲ歐洲戰爭開始前ニ比較シマスルトキ馬來ハ約八倍、比島ハ約四倍、蘭印ハ約二、五倍、緬甸ハ約五倍ニ夫々增加シ、現在之等諸國ヲ合シマシテ約二十數万デ御座イマス。今後情勢ニ伴ヒ其增加率ハ益々增大スルモノト豫想セラレマス

而シテ愈々開戰トナリマシタル場合ニハ、印度、濠洲、新西蘭等ヨリ增援兵力カ戰場ニ輸送セラルルコトト存シマスルカ、之等地域ニ於テ目

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

下保有シテ居リマスル兵力ハ、印度ニ於キマシテハ陸軍兵力少クモ約三十万飛行機約二百機、濠洲ニ於キマシテハ陸軍兵力約二十五万飛行機約三百機、新西蘭ニ於キマシテハ陸軍兵力約七万飛行機約百五十機ト判断致シテ居リマス。此等各地域ノ地上部隊ハ地域ニ依リ差異カアリマスルカ、三割内外ノ白人本國兵ヲ基幹トスル土民軍隊テアリマシテ、教育訓練十分ナラス其戰鬪能力ハ一般ニ低劣テアリマス。只熱帶ノ氣候風土ニ慣熟シテ居リマスルコトハ考慮ヲ要シマス。又飛行隊ノ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

戰鬪能力ハ飛行機ノ性能カ優秀ナアリマシテ且其操縱者カ比較的良好テアリマスルノテ、地上部隊ニ比シ輕視ヲ許サレヌモノカアルト考ヘマス

次ニ帝國陸軍ノ現況ニ就テ概述致シマス

帝國陸軍ハ五十一師團ヲ基幹トシ、其總兵力約二百万テ御座イマス。

而シテ約十五師團ハ對北方兵力トシテ關東軍司令官統率ノ下ニ滿洲朝鮮ニ、約二十四師團ハ對支兵力トシテ支那派遣軍總司令官統率ノ下ニ

29

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

支那ニ在リマス

南方作戰兵力ト致シマシテハ、佛印ニ在ル一師團、內地臺灣ニ待機訓練中ノ約五師團、及支那ヨリ轉用セラレマスル五師團ヲ併セマシテ約十一師團ト豫定シ、大命一下隨時行動ヲ發起シ得ルノ態勢ニ在リマス

尙左記事項ニ就テ御說明申上ケマス

一、開戰ノ時機

二、南方作戰ノ見透

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三、南方作戰ニ伴フ北方ノ情勢

一、開戰時機ニ就テ

明春頃ニナリマスレハ、「ソ」聯國內ノ動靜ハ增大シ國力ハ益々弱体化スルノミナラス極東「ソ」軍ノ西送モ或程度豫想セラレ、又獨軍ノ近東及中東方面並英本土ニ對シマスル壓力ノ强化ニ伴ヒ英國ノ東亞ニ於キマスル地位カ自然弱メラレ、尙米國カ明春迄ニ獨逸ニ對シ參戰シマセヌ場合ニ於キマシテモ其參戰的態度カ更ニ促進セラレ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

マスル等、獨逸ノ演シマスル役割ノ東亞ニ及ホス效果ハ現在ヨリモ
增大スルモノト豫想セラレマスルノテ、帝國ノ米英蘭ニ對スル開戰
ノ時機ハ明春頃迄延期致シマシテモ差支ナシト考ヘラレマスル點モ
御座イマスルカ、他面作戰上ヨリ致シマスレハ極メテ不利益テアリ
マシテ積極的作戰ハ不可能トナル虞カ多イノテ御座イマス。即チ時
日ノ經過ト共ニ、第一ニ日米軍備ノ比率ハ益々不利トナリ特ニ航空
軍備ノ懸隔ハ急遽ニ增大致シマス。第二ニ比島ノ防衛關係ハ益々緊

防衛其他米ノ戰備ハ急速ニ進捗シ第三ニ米英蘭

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

密トナリ南方諸域ノ綜合的防備力ハ急速ニ強化致シマス。例ヘテ申上ケマスレハ比島馬來蘭印ニ於キマスル航空兵力ハ綜合シテ從來二ケ月間ニ一割强ノ割合ヲ以テ增加シツツアルノミナラス航空基地ノ設定モ最近比島ニ於キマシテハ五ケ所馬來ニ於キマシテハ六ケ所ヲ整備中テアリマシテ本年末迄ニハ略完成スルモノト思ハレマス。又比島馬來ノ陸軍兵力ハ逐次增大シツツアリマシテ特ニ馬來ニ於キマシテハ一ケ月四千名ノ割合テ增加シテ居リマス。第四ニ明春以降ニナ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

リマスレハ季節上北方ニ於キマスル作戰行動可能トナリ、帝國ハ南北兩方面同時戰ニ直面シナケレハナラヌ公算增大致シマスル等極メテ不利ナル關係ニアルノテ御座イマス

以上ノ外作戰地附近ノ氣象ノ關係上時日ノ遲延ヲ許サナイ事情モアリマスルノテ開戰時機ハ成ルヘク速カナルヲ要スルノテ御座イマシテ、今後進メマスル作戰準備ノ完整次第速カニ武力ヲ發動スル爲其時機ハ十二月初頭ト定メタイト存スル次第テ御座イマス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三、作戰ノ見透ニ就テ

陸軍ハ南方軍總司令官ノ統率致シマスル南方軍（約九師團基幹）ヲ以テ聯合艦隊ト協同シ、比律賓及馬來ニ對スル先制急襲ヲ以テ同時ニ作戰ヲ開始シ速カニ南方要域ヲ攻略スルノヲアリマシテ、攻略スル範域ハ比律賓、英領馬來、「ビルマ」、蘭領印度、「チモール」島等デ御座イマス

35

尙別ニ支那派遣軍ノ一部ヲ以テ香港ヲ攻略致シマス、

0174

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

右ハ初期ニ於キマスル陸軍作戰ノ概要テ御座イマスルカ、其主體ハ勿論上陸作戰テ御座イマシテ、而モ支那ニ對シ行ヒマシタルモノトハ異ナリ、敵ノ潛水艦飛行機ノ攻擊ヲ排除シツツ炎熱ノ下長遠ナル海面ヲ經テ防備セル敵ノ根據ニ對シ行フ上陸作戰テ御座イマスルノテ、相當ノ困難ヲ豫期シテ居リマス。然シ乍ラ大局的ニ見マシテ敵側ノ戰力カ廣地域ニ而モ海ヲ隔テテ分散シ協同連繫カ困難テアリマスルノト、我急襲ニ對シ印度濠洲等ヨリ迅速ニ兵力ヲ增援スルコト

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

モ仲々困難ナル關係ニアリマスルニ對シ、我ハ集結セル戰力ヲ愈愈的ニ使用シ敵ヲ各個ニ撃破スルコトカ出來マスルノテ、從來ヨリ創意改善ヲ加ヘツツアリマスル編制裝備、資材、戰鬪法等ノ遺憾ナキ活用ト陸海軍ノ緊密ナル協同ト相俟チマシテ必成ヲ確信致シテ居リマス。上陸後ノ作戰ハ彼我ノ編制裝備素質兵力等ヨリ考察シ我ニ絶對的確算アリト信シテ居リマス

南方要域ニ對スル攻略作戰一段落シマシタル後ニ於キマシテハ、政

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

戰略ノ活用ニ依リ敵側ノ戰意ヲ喪失セシメ極力戰爭ヲ短期ニ終結スル如ク勉メマスルカ、戰爭ハ恐ラク長期ニ亘ルコトト豫期シナケレハナリマセヌ。然シ乍ラ敵ノ軍事根據或ハ航空基地等ヲ占領シテ飽迄之ヲ確保シ海上交通ノ確保ト相俟チマシテ戰略上不敗ノ態勢ヲ占メ得マスルノテ諸般ノ手段ヲ盡シ敵ノ企圖ヲ挫折セシメ得ルモノト存シマス、

南方作戰ニ伴ヒマスル對「ソ」防衛竝對支作戰ハ從ネ現在ノ態勢ヲ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

堅持シ之ニ依リ北方ニ對シマシテハ不敗ノ態勢ヲ强化シ、支那ニ對シマシテハ依然其目的ノ遂行ニ支障ナイモノト存シマス

三、南方作戰ニ伴ヒマスル北方ノ情勢ニ就テ

「ソ」聯野戰軍ハ獨軍ニ依リ多大ノ損害ヲ蒙リ其軍需工業生産力ハ「ヴォルガ」河以西ノ地區ヲ失ヘハ全「ソ」ノ二割五分程度ニ低下致シマスルノミナラス、極東赤軍ハ歐「ソ」赤軍增援ノ爲今春以來祖國十三師團ニ相當スル兵力(戰車)約一千三百輌飛行機少クモ一千三百機

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

以上ヲ敢「ソ」方面ニ西送シ、其戰力ハ物心兩方面ニ亘リ低下シツツアリマス。從ヒマシテ關東軍カ儼存致シマスル限リ「ソ」聯邦カ進ンテ積極的ニ攻勢ヲ採ル樣ナ事ハ其公算極メテ少イト存シマス。

只滿洲支那ニ於テ共產黨ヲ利用スル破壞的工作又ハ思想宣傳等ノ謀略的工作ヲ以テ我ヲ牽制スル程度ノ策動ヲナスコトハアルト存シマス

然シ乍ラ米國カ極東「ソ」領ノ一部ヲ北方ヨリノ對日攻勢據點トシテ飛行基地乃至ハ潛水艦基地ニ利用スル爲之カ使用ヲ「ソ」聯邦ニ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

對シ強制スルコトハアリ得ルノテ御座イマシテ、「ソ」聯邦ト敢シマシテハ之ヲ拒否シ兼ネル關係ニアリマスルノテ、一部潛水艦及飛行機等ニ依ル策動ヲ北方ヨリ蒙ルコトアルヲ豫期セネハナリマセヌ。

從ヒマシテ斯ル事カ原因トナリ狀況ノ推移ニ依リマシテハ日「ソ」開戰トナル危險カナイトハ申サレマセヌ。特ニ我カ南方作戰カ長期ニ陷ル場合若ハ「ソ」聯邦ノ內部的安定狀態カ恢復ニ向ヒマシタル場合ハ、極東赤軍カ漸次攻勢的姿勢ニ轉シ來ル可能性カアルノテ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

御座イマシテ、帝國ト致シマシテハ成ルヘク速カニ南方作戰ヲ解決シテ之ニ對處シ得ル準備ニ遺憾ナキヲ期セネハナラヌモノト存シマス

0181

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp